

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

1 開会

司会 只今から、令和4年度第5回久喜市立小・中学校学区等審議会を開催いたします。
(麦倉主幹)

なお、本日は、委員総数20人に対して、出席者は、15人でございます。従いまして、久喜市立小・中学校学区等審議会条例第7条第2項に規定されている会議の開催要件を満たしていることを報告させていただきます。

また、本日の傍聴者は2人でございますので、ご報告させていただきます。

2 あいさつ

司会 はじめに、山本会長からご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願ひします。
(麦倉主幹)

山本会長 皆さん、こんにちは。
桜も満開になっている反面、花冷えのところ、天気が映えないと思う今日この頃でございますが、皆さんもご存じのとおり侍ジャパンの優勝の余韻で何回も観ておりました。すごく明るく開放的で力が感じられる気分になりました。今、令和4年度のまとめと新年度の準備で学校をはじめとして皆様それぞれお忙しい日々を過ごされていると思いますが、新しい年度が明るく未来志向となることを願っております。前回の会議では、委員の皆様から貴重なご意見をいただきました。本日の会議もよろしくお願ひします。

3 議事

司会 ありがとうございます。
(麦倉主幹) 次に、議事でございます。
会議の進行につきましては、久喜市立小・中学校学区等審議会条例第7条第1項において、会長が議長となる旨の規定がございますので、山本会長に議長をお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

議長 それでは、暫くの間、議長を務めさせていただきます。円滑に議事が進行いたしますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。
(山本会長)

はじめに、議事録の署名人でございますが、名簿順で儀仁委員を指名しますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の議事の「久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について」でございますが、本日は、本町小学校の学校統廃合等の方向性に関する答申書案の確認を予定しております。

前回の審議会でお諮りしたとおり、まず、資料でございます答申書案について事務局から説明していただき、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

内容が整いましたら、本日、答申書を提出したいと思いますが、そのような進

め方でよろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明をお願いします。

事務局

(田口課長補佐)

それでは、資料1の答申書の素案をご覧ください。

令和4年6月8日付け久教学第258号において、「久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向について」諮問をさせていただきました。その内容について、慎重にご審議いただいた内容を、答申書案として、お示しをしているところでございます。

読み上げさせていただきますと、

「久喜市立本町小学校は、校舎等の施設や設備の老朽化が著しく、教育環境の改善が喫緊の課題となっており、また、隣接する久喜市立久喜北小学校は、将来的に児童数の減少が見込まれています。

子どもたちのことを第一に考えますと、久喜市立本町小学校の老朽化を解決するためには、今後の児童数の見込み、現状の学校施設の利用状況、関係学校の歴史的経緯などを踏まえつつ、統合した場合の方向性を決定し、早急に教育環境の改善を図る必要があると考えます。

つきましては、将来的に久喜市立本町小学校と久喜市立久喜北小学校の統合が必要となった場合は、新校の位置を現在の本町小学校の位置とすることが望ましいと考えます。附帯意見、学校の統合等の適否については、関係学校の保護者や地域住民の意見に十分配慮しながら、検討することを要望します。

また、学校の統合にあたっては、新校舎の建設を視野に入れ、更なる教育環境の整備を図るよう要望します。」というものでございます。

答申書の内容、文言等について、ご意見等がございましたらお願いいたします。

事務局からの説明は以上でございます。

議長

(山本会長)

ただいま、事務局から説明がありました。「久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について」の答申書案について、何かご意見やご質問がございましたらお願いいたします。

佐藤委員

事前に資料を送っていただきありがとうございました。読ませていただいて内容は良く分かったのですが、一点だけ表現の仕方としてお聞きいただければと思いついて、4行目、「第一に考えますと、久喜市立本町小学校の老朽化を解決するためには」となっているが、「解決に向けて」の方がこの会議の意図が伝わるのかと思います。「老朽化解決に向けて」はいかがでしょうか。

議長

(山本会長)

答申書案の4行目「子どもたちのことを第一に考えますと、久喜市立本町小学校の老朽化を解決するためには」となっておりますが、「久喜市立本町小学校の老朽化の解決に向けて、今後の児童数の見込み、現状の学校施設の利用状況、関係学校の歴史的経緯などを踏まえつつ、統合した場合の方向性を決定し、早急に教育環境の改善を図る必要があると考えます」ということですが、委員の皆様いかがでしょうか。

それでは、事務局いかがでしょうか。

事務局

(関口課長)

ご意見いただきありがとうございました。ご指摘のとおり「久喜市立本町小学校の老朽化の解決に向けて」と他の委員の皆様がよろしければ表現を直させてい

ただければと存じます。ご審議のほど、どうぞよろしく願いいたします。

議長

もう一度読ませていただきます。

(山本会長)

「子どもたちのことを第一に考えますと、久喜市立本町小学校の老朽化を改善するためには、現状の学校設備の利用状況、関係学校の歴史的経緯などを踏まえつつ、統合した場合の方向性を決定し、早急に教育関係の改善を図る必要があると考える」が今の案ですけれど、「子どもたちのことを第一に考えますと、久喜市立本町小学校の老朽化解決に向けて、今後の児童数の見込み、現状の学校設備の利用状況、関係学校の歴史的経緯などを踏まえつつ、統合した場合の方向性を決定し、早急に教育関係の改善を図る必要がある」いかがでしょうか。

中村委員

これまで時間をかけて色々な角度、方向から意見を聞いて出し合って答申をしましょうと今回案が出ましたが、答申を出すことについて、賛成しております。声を聞いて施設の方が十分でない。行政で努力してほしい。

議長

内田委員いかがでしょうか。

(山本会長)

内田委員

「解決するためには」の方が少し強い感じがします。老朽化の解決が喫緊の課題であると訴えるためには、「解決するためには」の方が強い表現で伝わるのかなと感じます。

議長

「老朽化を解決するためには」の方が少し狭く強く感じられる気がします。

(山本会長)

どちらの文言も私はよろしいかなと思うのですが、「解決に向けて」の方が少し幅があると感じられます。

松村委員いかがでしょうか。

松村委員

仰っているとおり、「解決に向けて」の方が幅が広がるのかなと感じます。来年、再来年すぐ動くことかどうか分からないところもあるので、「向けて」でも良いと思います。

議長

堀井委員いかがでしょうか。

(山本会長)

堀井委員

皆さんの意見とほとんど同じですが、この文言については、2つの内容が入っていると思います。1つは、方向性を決定すること、それから早急に改善を図る必要があると2つが入っていることから、方向性だけであれば「老朽化を解決するためには」でも良いと思いますが、改善をとということが中心であれば「解決に向けて」の方が良いと思います。

議長

金子委員いかがでしょうか。

(山本会長)

金子委員

早急に教育環境の改善を図ることが、これまでの話し合いの中心だったのかなと思いますので、佐藤委員の案でも良いのかなと思います。

議長

事務局いかがでしょうか。

(山本会長)

事務局
(関口課長)

ご審議いただきましてありがとうございます。事務局で当初の案で作成した思いとしては同じでございますが、どちらの表現がより適切なのか、よりふさわしいのかというところで考えております。ご意見お伺いした中では、老朽化解決に向けて改善を図る必要がありますと考えると、そちらの方向に向かっていく、老朽化の改善の方向に向かっていくんだというニュアンスをより出せるのは、佐藤委員から頂いたご意見である「老朽化の解決に向けて」の方がより適切なのかなと考えたところでございます。

議長
(山本会長)

他にご意見ありますでしょうか。

折原委員

私もよく分からないのですが、1つはここで扱っている中身は基本的には本町小学校と久喜北小学校の2つがあった時にどちらの方がいいかなとなった時に本町小学校の方がいいだろうと理解しています。ただ、本町小学校に移った場合にいつ頃になりますか。それから新しい校舎を作るのか、現在の校舎を修理しながらとかスケジュールとかが見えてこない。過去の小・中学校の統合は、大体目安として何年度を目安にするとか日程的なものをある程度示して答申したイメージがある。このイメージを見るとどういうときに今後、統合するのか日程が見えてこない。本町小学校と久喜北小学校を統合することはイメージとして理解できません。行政の立場からすると建築に要する費用や議会への対応や予算措置をどうするのか今後の課題として色々とありますが、教育委員会としての方向性はどのように考えていますか。

事務局
(田口課長補佐)

今回の諮問に関しましては、今年度議論いただきましたが、統合した場合の本町小学校と久喜北小学校の新校の位置をどこにするのかという内容でご審議いただいております。審議の中でも説明させていただきましたが、久喜北小学校の児童数に関しては、令和8年度に6学級が見込まれるところですが、まだ統合にあたっての喫緊の統合の必要はございませんが、今後の児童数、学級数の推移を見ながら統合の時期については、進めて行きたいと考えております。その際には、保護者や地域住民の方からのご意見を伺いながら考えてまいります。施設に関しましては、新校の位置が本町小学校で答申がいただけましたら、この後、教育委員会に方向性を諮らせていただき、方針が決まれば新校の位置を本町小学校で進めて行き、今後、大規模改造するのか校舎を建築するのか費用やスケジュールを含めて検討してまいります。実際に校舎を改造できたり、建築できたりの中で統合が前に進んで行くところがございますので、現時点では、統合のスケジュールや工事のスケジュールについての詳細は出ていないところでございます。

議長
(山本会長)

ありがとうございました。
折原委員よろしいでしょうか。

折原委員

はい。分かりました。

議長
(山本会長)

スケジュールは出ていないですけども、委員の皆様からのご意見をいただいて、例えば新校舎を建てても良いのではといったご意見もありましたので、明言はできませんが、答申の附帯意見に「新校舎の建設を視野に入れ」という文言

が入っているのかなと思います。現時点では、具体的なスケジュールはお示しすることが難しいということですね。

他にいかがでしょうか。

中村委員

まず、今のところ答申をしないと次の段階に進むことが出来ない。まだ、はっきりとした文言は決まっていないようですが、私としては答申をしないと次の段階に進まないのだから、次の景色が見えないのだから答申はこれで良いと考えます。しかし、教育委員会、行政としての久喜市の教育をこういう風にしたいと夢がはっきりしない理由としてスケジュールや予算の関係がある。本町小学校を新校舎にするとか義務教育学校にするとか、なかなか言いづらいところもあると思いますが、私たち委員の総意としては、教育環境を改善してほしいと思います。

議長

ありがとうございました。

(山本会長)

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ご意見等ないようですので、ありがとうございました。ただいま佐藤委員からご意見ありました「老朽化の解決に向けて」と文言を修正した方がいいのではないかとなりましたが、修正することで事務局よろしいでしょうか。

事務局

はい。

(田口課長補佐)

議長

それでは、現行の内容に先ほどの「老朽化の解決に向けて」の修正を加えた形で答申書を提出することで委員の皆様よろしいでしょうか。

(山本会長)

<異議なしの声あり。>

議長

ありがとうございました。

(山本会長)

それでは、この後、柿沼教育長に答申したいと思います。

事務局におきましては、準備をお願いします。

その他、ご意見等はございますか。

ないようでしたら、本日の議事は以上でございますので、議事を終了し、議長の任を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

司会

ありがとうございました。

(麦倉主幹)

これより答申の準備を行うため、暫時休憩とさせていただきます。

再開は、14時45分からといたしますので、よろしくお願いいたします。

<暫時休憩（14時30分～14時45分）>

<答申書の写しを配布>

<教育長入室>

司会

再開いたします。

(麦倉主幹)

それでは、山本会長から柿沼教育長へ答申書をご提出いただきたいと存じます。会長、教育長よろしくお願いいたします。

(会長が答申を読み上げ、教育長へ渡す)

司会

ありがとうございました。

(麦倉主幹)

ここで、柿沼教育長から挨拶をいただきます。

柿沼教育長

皆様、改めましてこんにちは。

本日は、昨年6月に諮問いたしました「久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について」慎重にご審議をいただいたうえ、今般このように答申書をいただき、厚く御礼を申し上げます。教育委員会では、本答申書の内容を踏まえ、令和5年4月に開催する久喜市教育委員会定例会において、本町小学校の学校統廃合等の方向性に関する方針を決定してまいりたいと考えています。本町小学校につきましては校舎や雨漏り、また、トイレなど施設や設備の老朽化が深刻な状況にあり、改修や修繕をこれまでも繰り返し行っておりますが、根本的な解決にはなっておらず、教育環境の改善が喫緊の課題となっているところでございます。

また、本町小学校の学区に隣接する久喜北小学校は、平成7年に本町小学校の大規模化を解消することを目的に分離して設立された学校でございますが、近年の少子化の影響により児童数が減少し、令和8年度以降は6学級になる見込みでございます。この度の答申は、本町小学校の老朽化と将来の学校の統合等についてご審議いただき、子どもたちの教育環境を改善するための第一歩になるものと考えております。審議会委員の皆様には、学校の統合等をはじめとする諸課題について引き続き貴重なご意見を賜りたいと考えております。

結びになりますが、委員の皆様におかれましては、年度末のご多用の折とは存じますが、ご健勝と今後の皆様のご活躍をご祈念申し上げまして、わたくしからの御礼の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

4 その他

司会

審議会委員の皆様、答申書のご提出ありがとうございました。

(麦倉主幹)

次にその他でございます。令和4年度における会議は、本日をもって終了でございます。皆様、活発なご意見、ご審議ありがとうございました。令和5年度の会議につきましては、日程が決定次第、委員の皆様にご連絡をさせていただきます。事務局からの連絡事項は以上でございます。

閉会にあたりまして、森下副会長からご挨拶いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

5 閉会

森下副会長

はい。委員の皆様、ありがとうございました。

本日、「久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について」は、これからも物理的にも、また、心理的にも大きな動きになると考えられます。事務局におかれましては、今後も今まで以上に、児童また保護者、地域の皆様の不安を軽減できるよう、ご対応いただきたいと思っております。今年度は、委員の皆様、事務局の皆様、ありがとうございました。

司会

ありがとうございました。

(麦倉主幹)

以上を持ちまして、令和4年度第5回久喜市立小・中学校学区等審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和5年4月20日

会 長 山本 千恵子

委 員 儀仁 由香